

愛する町田・鶴川のために！

長 谷 川 け い す け

はせがわ 圭亮

NEWS
Vol.6

無所属

2025年12月発行

お手にとっていただきありがとうございます。

「このまちへの危機感と解決案」

はせがわ圭亮NEWSも6号目を迎えました。はせがわ圭亮は、地元の町田・鶴川を愛してやみません。自然豊かな緑と静かな住宅地、そして何でもそろそろ商店街がバランスよく共存する町田・鶴川。このまちが好きだからこそ、多くの危機感も感じています。今回は、町田・鶴川で長年住んできた私が抱く危機感（問題意識）を取り上げながら、現状を紹介し、はせがわが考える解決案をまとめてみました。今回は4つの危機感を取り上げますが、これ以外にも、小中学校の統廃合計画や鶴川を代表する「野津田公園」の開発等にも問題意識を持っています。ぜひ裏面までお読みいただければ幸いです。

よくいただくご質問：なぜオレンジ色を使うの？

私自身が、1)オレンジリボン運動(子ども虐待防止)への賛同 2)骨髄ドナーバンクに登録している 3)消防団に属している こと等からオレンジ色が好きです。活動を始めた頃からオレンジ色を使い続けてきました。

はせがわ圭亮が、このまちに感じる 危機感と解決案

問題 意識

町田市の図書館には何かと制約があり、使いにくいのでは？

現状は？

- 町田市は、図書の個人貸出冊数は多摩26市で1位。にも関わらず、1人あたりの図書購入費は最下位
- 人気作家の新刊本が出ると「予約1年待ち」という状況も珍しくない
- 中央図書館やさるびあ図書館では自習スペースがあるが、鶴川駅前図書館内では勉強のための座席利用が原則禁止されている

はせがわの解決案は？

- 図書貸し出しの需要があることから、予算をつける必要性。特に人気本は複数～数十冊の購入は必須。
- 学生や社会人の居場所としての機能を持たせる図書館とするために、勉強可の座席を設ける必要性を考える。繋がりやすいWi-Fiも完備されているとなお良い。

くわしい危機感と解決案は裏面をご覧ください



はせがわ圭亮(長谷川圭亮) プロフィール

1997(平成9)年2月28日生まれ
真光寺3丁目在住
けいしょう幼稚園・鶴川第四小学校 出身
日本大学文理学部社会学科 卒業
日本大学大学院文学研究科
社会学専攻社会学コース 中途退学
衆議院議員秘書・参議院議員公設秘書・
私立学校職員を経て町田市内で活動中！
社会調査士・防災士 上級救命技能認定
骨髄バンクドナー登録
真光寺3丁目町内会 2025年度副会長
中学軟式野球チーム
「多摩スーパースターズ」球団代表
一般社団法人町田青年会議所
町田市倫理法人会
町田交通安全協会鶴川第1支部
町田市消防団第三分団第六部
町田市赤十字奉仕団 NPO法人町田演劇鑑賞会
日本大学町田桜門会 他地域諸団体に所属
趣味：街歩き・
サッカー観戦(FC町田ゼルビアファン)・
映画鑑賞・乗り物乗車(電車、バス、飛行機)

← 各種SNSアカウント！
友だち追加・フォロー・いいねお待ちしています。

発行：はせがわ圭亮(けいすけ)

TEL:090-4931-0839

Email:keisuke0228hasegawa@yahoo.co.jp



← ← ←
はせがわ
圭亮
公式HP



はせがわ圭亮が、このまちに感じる危機感と解決案

若年層の転出超過

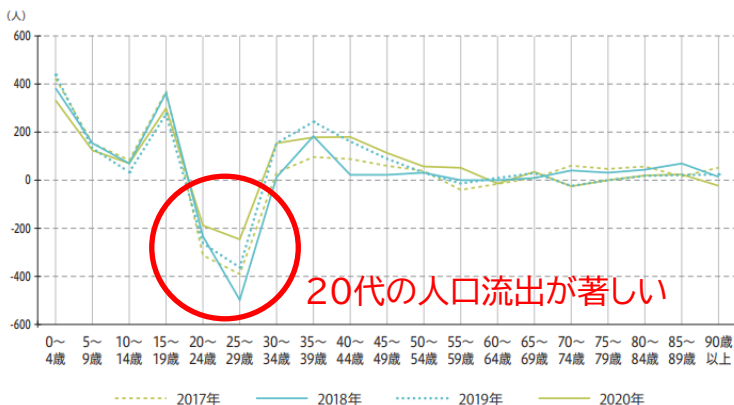
問題意識

町田で生まれ育った若者や、町田の大学を卒業した若者が市外に引っ越してしまう



現状は？

町田市における5歳階級別の社会増減数の推移(全体)
出典:総務省「住民基本台帳人口移動報告(各年)」 注)日本人人口のみ。



https://www.city.machida.tokyo.jp/shisei/sinokeikau/kihonkousou-kihonkeikaku/machida-miraizukuri-vision2040.files/vision2040_03.pdf



なぜ20代の人口流出が著しいの？

- 大学進学先や就職先が町田市内から遠く(東京23区や神奈川県、埼玉県、千葉県)、自宅から通えない
- 市内7大学に約3万人の学生が通っているが、卒業後に就職先の場所から町田を離れてしまう
- 町田市内の企業があまり知られていない



はせがわの解決案は？

- 八王子市にならい、卒業後も市内に住み続ける場合に、奨学金返済への支援制度の導入
- 町田市内の大学の就職課と連携し、市内就職の案内の促進
- 若年層を対象に町田市の子育て支援制度を紹介し、このまちで結婚し、子育てができるよう切れ目のない長期的な支援の実施
- 市内の鉄道駅において最終バス時刻が早いという交通課題に向き合う

みなさんが感じている
危機感もぜひ教えてください



過去レポートで取り上げた政策はこちら

鶴川駅への
急行停車の実現を



鶴川地域にも市民バス・福祉の町田の
コミュニティバスを



福祉の町田の
復活を



地域社会の担い手の減少

問題意識

地域の担い手がますます減少
各地域団体のなり手がいない



現状は？

出所:町田市ホームページ(データを見る町内会・自治会、地域コミュニティの未来に関する共同研究、防災)、タウンニュース町田版を元に作成

<町内会>

加入率 2004年度60.21%→2025年42.82%に減少。ある調査(回答数2059件)では、役員の引き受け手の減少が964件、会員の高齢化が810件、退会申し出の会員増加が551件

<消防団>

充足率:多摩地区平均83.8%、町田市は75.2%
消防団員数:2020年度末551人→2024年度末496人に減少

<保護司>

定年75歳(希望すれば特例で78歳の誕生日前日まで再任可)だが、一斉退任の時期が迫る

<民生委員>

なり手が少ない(充足率7割程度)

青少年健全育成地区委員会・交通安全協会等でも同ような悩みを抱えている



はせがわの解決案は？

- 行政では補いきれない領域を担う団体であり、団体活動を手厚くサポートする必要性
- 市の予算決定のプロセスに、現状/将来の担い手に参画してもらう
- 希望すれば団体を支援する専門家を派遣する

「学ぶ」環境の整備不足

問題意識

何歳でも学びなおしができる
環境はあるの？



現状は？

- 町田市において、義務教育未修了者は約3000人いるとされている
- 義務教育未修了者や様々な理由で義務教育を十分に受けられなかった方及び外国籍の方などを対象に義務教育の機会を提供する「夜間中学」は町田市に存在せず、世田谷区または八王子市まで通うことに
- 町田市生涯学習センターが毎月第1.3火曜日に「まなびテラス」を開いているが、ボランティアさんに頼っている



はせがわの解決案は？

町田市にも公立夜間中学設置を！